



ブラックパネル

スピードメーター&電気式タコメーター 取扱説明書

(正立φ27フロントフォーク用)

商品番号 : 05-05-0088
適応車種 : モンキー/ゴリラ(12V)
フレーム番号: Z50J-2000001~
: AB27-1000001~

この度は弊社の製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。ご使用になられる前に必ずこの説明書をお読み頂き、内容を把握下さいますようお願い致します。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

正しく安全にご使用頂くために

- 取り付け前に商品の内容をご確認下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い求め頂いた販売店にご相談下さい。
- このキットは、当社φ27正立フロントフォークキット、又は、ノーマルフロントフォーク用バーハンドルタイプトップブリッジ、ヘッドライトステー(09-03-007)及び、汎用ヘッドライトキット(09-03-072)(09-03-0770)取り付け車専用品です。ノーマルヘッドライトでは取り付け出来ませんので、ご注意下さい。
- このキットは、12V車専用です。6V車での使用は出来ません。
- 弊社対応製品を除く、他の点火系部品はノーマルをご使用下さい。特にスパークプラグは必ず抵抗入りプラグをご使用下さい。ハイテンションコード、プラグキャップ、イグニッションコイルを変更するとタコメーターが正常に作動しない場合があります。
- ロングタイプのハンドルホルダー及びノーマルフォーク用トップブリッジご使用の場合は、ソケットキャップスクリューの変更が必要になりますので別途お買い求め下さい。
 - ・10mmアップタイプ-----ソケットキャップスクリュー6×70ネジ長25mm以上 2本
 - ・20mmアップタイプ-----ソケットキャップスクリュー6×80ネジ長25mm以上 2本
 - ・ノーマルフォーク用トップブリッジ---ソケットキャップスクリュー6×70ネジ長25mm以上 2本

⚠ 注意

下記内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・取り付け作業は、必ずエンジン冷間時(35℃以下)に行ってください。エンジンやマフラーが冷えていない状態で作業を行った場合火傷の原因となります。
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用いて行って下さい。
- ・各ボルト、ナット類は必ずトルクレンチを使用し指定トルクで締め付けて下さい。
- ・本品には、運転者に注意をうながす速度警告灯がついておりませんので速度超過には十分注意をし安全運転を行ってください。
- ・走行前には、必ず各部の取り付け状態を点検し、緩み等がないかを確認して下さい。又、走行中異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ異常個所の点検を行ってください。

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

◎この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。

◎この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

～特徴～

ニューデザインのブラックメーターパネルを使用したメーターキットです。スピードメーターはオドメーター、トリップメーター付きで160km/h表示、タコメーターは、精度の高い電気式で14000rpm表示です。スピードメーター、タコメーターともに透過式メーターパネルを採用し、照明灯を2つにし夜間の見やすさを向上させました。メーター本体は、ステンレスを使用し耐久性の向上を計ると共にラバースタンプにより振動を低減させています。また、メーターステーにはLEDニュートラル、ターン用インジケータランプとメインスイッチを保護するスイッチカバーを取り付け出来るよう設定しています。

～商品内容～



番号	商品内容	数量	番号	商品内容	数量
1	スピードメーターASSY.	1	10	タッピングスクリュー 4×12	2
2	電気式タコメーターASSY.	1	11	LEDニュートラルインジケーターステップ	1
3	メータステー	1	12	LEDターンインジケーターステップ	1
4	クッションラバー	4	13	ソケットキャップスクリュー 6×60	2
5	カラー 8.5mm	4	14	フランジロックナット 6mm	2
6	プレーンワッシャ 5×18	8	15	サブコード (黒)	1
7	六角ナット 5mm	8	16	スピードメーターケーブルASSY. 670mm	1
8	スプリングワッシャ	4	17	エレクトロタップ	1
9	コンビネーションスイッチカバー	1			

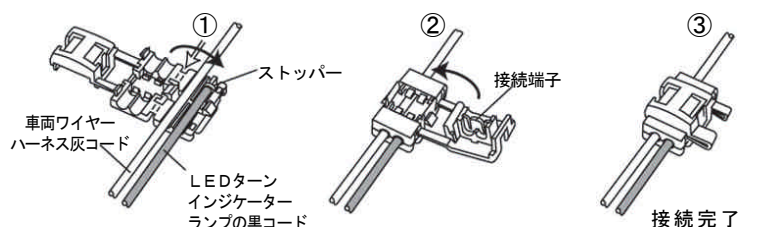
※部品番号5番は、4番クッションラバーに付いています。

※部品番号7番と8番は、メーターに付いています。

～取 り 付 け 要 領～

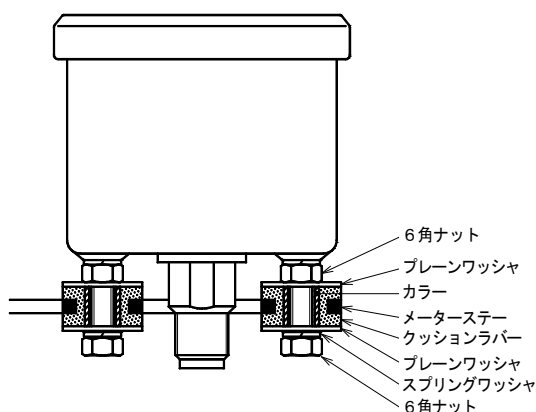
1. メータースターにクッションラバー4個を取り付け、カラー8.5mmをクッションラバーにそれぞれ差し込みます。
2. 電気式タコメーターネジ部にプレーンワッシャ5×18を入れメータースター右側にタコメーターを取り付けます。クッションラバー裏側よりプレーンワッシャ5×18と6角ナットを取り付け指定トルクで締め付けます。
トルク：5 N・m (0.5 kgf・m)
3. スピードメーターネジ部にプレーンワッシャ5×18を入れメータースターにスピードメーターを取り付けます。クッションラバー裏側よりタコメーター同様にプレーンワッシャと6角ナットを取り付け指定トルクで締め付けます。
トルク：5 N・m (0.5 kgf・m)
4. メータースターにLEDニュートラルインジケータランプとターンインジケータランプを取り付け、スター裏側よりスプリングワッシャを入れてナットを締め付けます。
5. コンビネーションスイッチカバーの切り欠き部が右斜め下になる様タッピングスクリーで取り付けます。ノーマルライトケースよりコンビネーションスイッチを取り外しロックの爪が掛かるまでスイッチをスイッチカバーに差し込みます。
(ライトケースよりコンビネーションスイッチを取り外す場合、細目のドライバー等で2箇所のロックの爪を内側に押しながらスイッチを抜き取って下さい。)
6. ハンドルホルダー前側2本のソケットキャップスクリーを外し付属のソケットキャップスクリーに交換し指定トルクで締め付けます。
トルク：12 N・m (1.2 kgf・m)
トップブリッジ裏面の交換したキャップスクリー部分にメータースターを入れフランジナットを取り付け指定トルクで締め付けます。
トルク：12 N・m (1.2 kgf・m)
(メーターとヘッドライトが干渉したり、クリアランスが少ない場合は、ヘッドライトステーで高さ調整を行って下さい。)
7. ヘッドライトケース内のワイヤーハーネス茶コード、緑コード、黒コードにタコメーターコードの同色のコードのギボシをそれぞれ接続します。タコメーターコードの黒/黄コードをイグニッションコイル部分まで取り回しコイルに接続します。スピードメーターの赤コードをタコメーターの茶コードに接続し、黒コードを緑コードに接続します。
8. LEDニュートラルインジケータランプの黒コードをワイヤーハーネス若葉/赤コードに接続し、赤コードをタコメーター黒コードに接続します。
9. LEDターンインジケータランプの赤コードをサブコード黒に接続し、黒コードをエレクトロタップを使用して、ワイヤーハーネス灰コードに接続します。
※エレクトロタップの接続方法は図を参照して下さい。
10. スピードメーターケーブルを接続します。エンジンを始動し各ランプの点灯状態とタコメーターの作動を確認し問題がなければ安全な場所で低速走行を行いスピードメーターの作動を確認して下さい。

エレクトロタップの接続方法

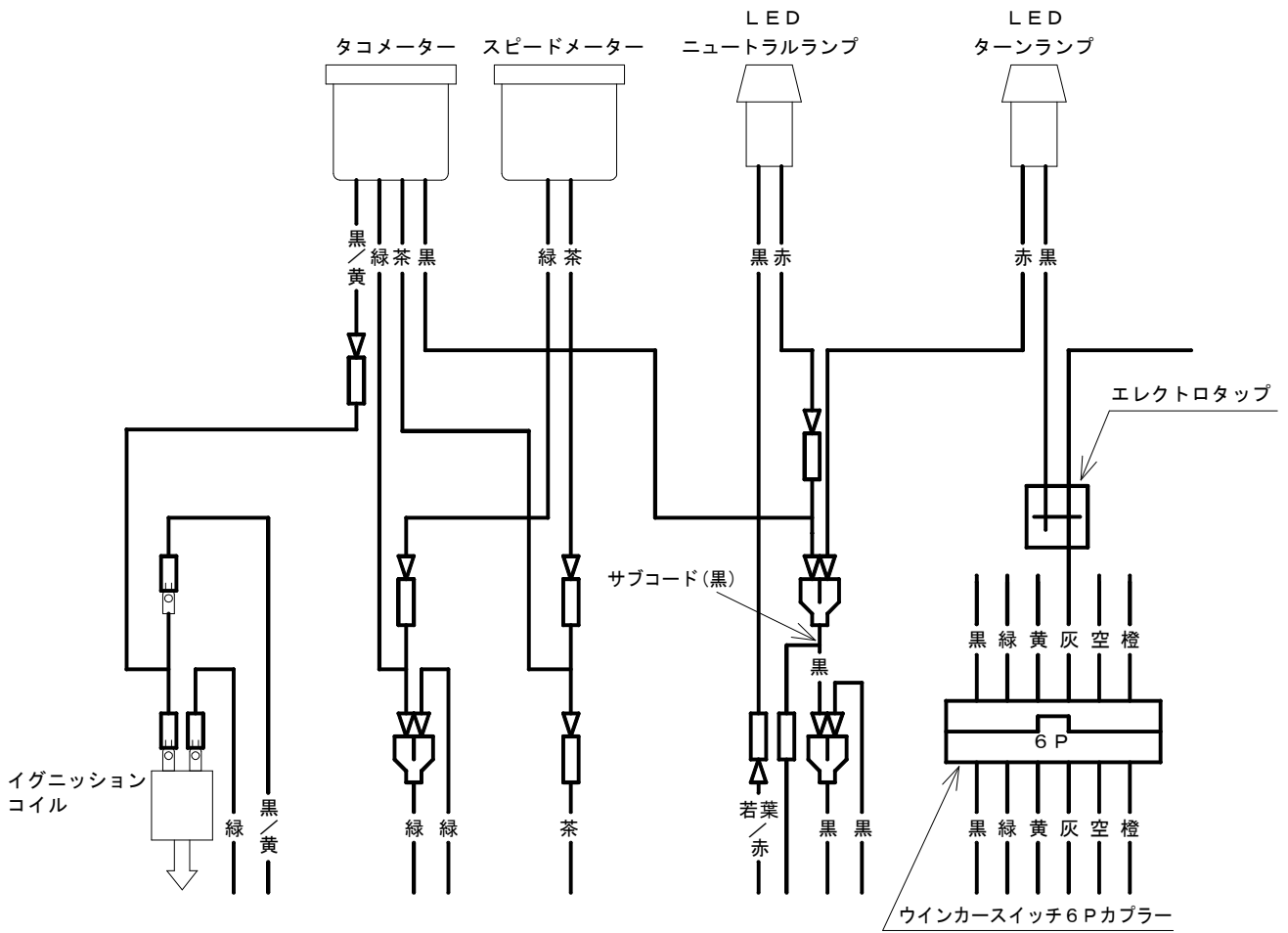


- ① 接続しようとするコードをそれぞれエレクトロタップの溝に合わせ、位置決めをし(LED側の配線をしっかりストッパーに当てて下さい。)
- ② ⇒部分から折り返して下さい。これでコードが仮止めされます。
- ③ 次に接続端子がついている方を折り返して下さい。プライヤーなどで完全にロックするまでしっかりと押さえて下さい。

メーター組み立て図



～配線図～



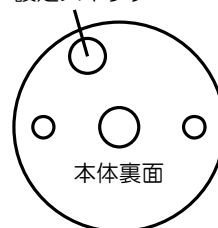
電気式タコメーターの発火回数設定方法

本製品はモンキーFIやエイプFIでご使用頂けるよう、発火回数の設定機能を装備しております。発火回数の設定値を誤ると、表示数値が2倍や半分・・になります。

発火回数設定値は1、2、4のいずれかでほとんどのバイクに適合します。指針が振れや振り切ったままなど不安定な不具合の場合、設定値ではなく点火信号以外の制御信号やノイズを読み込んでしまっている可能性があります。抵抗無しプラグや外品プラグコード、イグニッションコイル、CDI、発電コイルなどは、上記不具合の原因となりますのでご注意ください。また、当社適合確認車両以外では、信号を読み込めない可能性があります。

- 1 本体裏面にあるスイッチを押しながら、キーをONにしてください。
スイッチは指針がチェック作動を開始するまで押し続けて下さい。（キーONの後、約3秒間）
※キーON直後に指針がチェック作動してしまったら失敗です。スイッチをしっかりと押しながら再度キーをONにしてください。
- 2 指針がチェック作動を開始したらスイッチを離して下さい。
チェック作動後設定モードになり、指針が現在の設定値を指します。
- 3 スwitchを押す度に設定値が変わり、指針の指す位置も変わります。
- 4 希望の設定値に指針を合わせ、5秒間何も操作せず待って下さい。
- 5 5秒後、自動的に指針がチェック作動を開始し、設定モードが終了します。
- 6 エンジンを始動し、作動を確認して下さい。
設定値は1、2、4のいずれかでほとんどのバイクに適合します。誤っているとあきらかに異なった数値を指します。例えば、設定値2が正しいバイクで、1と設定すると表示数値が2倍になり、4を設定すると半分になります。

設定スイッチ



設定値	発火回数	比率※	参考適合車種	メモ
1	2回転1発火	10000	モンキーFI、エイプFI	多くのインジェクション車
2	1回転1発火	5000	モンキー/エイプ（CDI点火）	多くの4ストローク単気筒車/4気筒車、一部インジェクション車
3	2回転3発火	3333		
4	1回転2発火	2500		
5	2回転5発火	2000		
6	1回転3発火	1666		
7	2回転7発火	1429		
8	1回転4発火	1250		

※設定値1で10000rpmの時、他の設定では表の値を指します。

正しく配線が出来ていれば、キーONに連動し指針がチェック起動します。

キーONに連動し指針がチェック起動しない、エンジン始動に伴いチェック起動する場合はすぐに使用を中止し、点検作業を行って下さい。

⇒配線が間違っている可能性があります。配線を再度確認して下さい。

⇒バッテリーが弱っている、機能を失っている可能性があります。ヒューズもチェックして下さい。

作動にはDC12V（直流）バッテリー電源が必要です。

指針の動きが不安定、ずれている場合

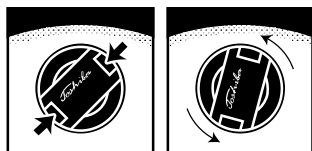
⇒バッテリーが弱っている、機能を失っている可能性があります。ヒューズもチェックして下さい。

作動にはDC12V（直流）バッテリー電源が必要です。

⇒発火回数の設定が合っているか確認して下さい。

⇒抵抗無しプラグや外品のプラグコードやイグニッションコイル、CDIなどの点火装置を変えていると、作動不良や故障の原因になります。

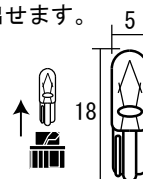
バルブの取り外し方（タコメーター）



底面にあるゴムキャップを外すと、穴の中に黒色プラスチック製のソケットが見えます。ソケット両端の溝を先端の細いラジオペンチやピンセットでつかみ、反時計回りに回して下さい。約30度回すとロックが解除され、ソケットを取り出せます。



当社リペアパーツ番：09-05-0051
（ソケットとバルブセット）



T5ウェッジ12Vバルブ
（市販品をご利用頂けます）

株式会社 SPECIAL PARTS 武川 〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号
TEL 0721-25-1357 FAX 0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>